

令和5年度 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 瑞浪高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和5年6月2日(金) 13:30~15:30
- 3 開催場所 瑞浪高等学校 会議室
- 4 参加者

会長	山田 幸男	瑞浪市教育委員会 前教育長
副会長	正村 和英	瑞浪市 総務部長 (欠席)
委員	景山 助夫	瑞浪商工会議所 会頭 (欠席)
	三輪田幸泰	瑞浪市議会 議員
	薄井 義彦	瑞浪中学校 校長
	栗岡 洋美	中京学院大学短期大学部 准教授 (欠席)
	田中真奈美	瑞浪幼稚園 園長 (欠席)
	玉川 幸枝	合同会社プロトビ 代表 (欠席)
	熊本早由里	瑞浪高等学校 育友会長 (欠席)
オブザーバー	小川 祐輝	岐阜県議会 議員 (欠席)
	水野 光二	瑞浪市 市長 (欠席)
	石田 智久	瑞浪高等学校 同窓会副会長 (欠席)
学校側	伊左治錦司	校長
	工藤 正紀	教頭
	相賀 栄寿	事務長
	今井 典彦	教務部長(教務主任) (欠席)
	横井 雅代	生徒支援部長(生徒指導主事)
	丸谷 俊幸	進路支援部長(進路指導主事)
	齋木 一美	生活産業部長(生活デザイン科主任)
	林 尚志	県立高校地域連携コーディネーター

5 会議の概要(協議事項)

(1) 令和5年度教育指導の重点及び学校経営計画について

意見1:今年度は普通科・生活デザイン科ともに入学者数が入学定員に満たない状況であったが、その原因の分析をどう考えているのか。

⇒ 今年度は昨年度に比べ、生活デザイン科の入学者数が定員には満たないものの増加したが、普通科の定員割れは予想外である。多治見地区全体の生徒数は前年度より増加しているが、それ以上に私学に流れている傾向がある。また、近年は中学卒業後通信制を選択する生徒も増えてきたことも影響していると考ええる。

意見2：瑞浪高校としての立ち位置を明確にできるとよい。学校としての明確な特徴やアピールできることを中学生や地域に向けて発信できるとよい。

⇒ 少人数指導を実践しており、学習面、生活面、進路面等面倒見がよい学校としての特色をアピールしていきたい。

(2) 各校務分掌長より今年度の取組について

意見1：今年度から「ほっとプレイス」を設置し、教育相談面にも力を入れていると伺ったが、4月からの2ヶ月間での利用状況はどうか。

⇒ これまでに延べ3人が利用し、利用日数は計15日である。

意見2：令和2年度から単位制に移行しているが、学年制との相違点はあるのか。

⇒ 2年次から複数のコース制に加え、コース内でも選択科目を設ける等、希望進路に応じた科目を生徒が選択することができる。そのため、少人数指導が実現でき、幅広く生徒のニーズに応えることができる。

意見3：今年1月に行われた瑞浪高校の卒業実践発表会では普通科、生活デザイン科共に素晴らしい発表であった。特に普通科の生徒が探究で地域防災に関する発表が印象に残っている。

意見4：コロナ禍以降高校側が中学校へ出向いて学校紹介や説明をする機会がなくなっている。現在は中学生が一人一台貸与されているタブレットを利用して高校のホームページを積極的に検索するようになっている。進学先を研究するうえで大きなウエイトを占めるので、できる限り新しいものに更新していただきたい。

意見5：瑞浪高校の良さをアピールする手段としてOBの力を借りてはどうか。今年の創立100周年記念式典を通してOBとも協力関係を築くことで、瑞浪高校の活性化につなげたい。

6 会議のまとめ

- ・第1回学校運営協議会において、全委員より今年度の本校の学校運営方針について承認が得られた。
- ・当日は記録的な大雨で警報が発令された中での開催となったために、防災や園児及び学生の安全確保の観点から学校関係者や市役所関係の委員の方が急遽不参加となった。欠席された委員の方々に議事の内容を書面にて送付し、承認を得た。
- ・本校の今までの取組に対して概ね好意的な意見をいただいた。
- ・委員からは本校への入学希望者を増やすために独自の魅力・特色をより明確に打ち出し、瑞浪市唯一の公立高校として今後のさらなる発展を要望された。